

三ノ沢岳 山行報告

【山域】 中央アルプス

【コース】 駒ヶ根 菅の台バスセンター⇒しらび平駅⇒千畳敷駅⇒極楽平⇒三ノ沢岳⇒往路を下る

【日時】 平成29年8月23日（水）～25日（金）

【参加者】 CL 鈴木憲二 鈴木愛子（記録）

【コースタイム】

8/23（水） 自宅⇒駒ヶ根 森と水のアウトドア体験広場（テント泊）

8/24（木） 森と水のアウトドア体験広場⇒菅の台バスセンター7:05⇒しらび平駅 8:10⇒千畳敷駅

8:25 登山開始⇒極楽平 8:50 着 9:00 発⇒三ノ沢分岐 9:10⇒三ノ沢岳頂上 11:10 着

11:45 発⇒三ノ沢分岐 13:30 着 13:40 発⇒千畳敷駅 14:20 着 14:30 発⇒しらび平

14:40⇒菅の台バスセンター15:10 着⇒こぶしの湯 日帰り入浴⇒森と水のアウトドア体験広場（テント泊）

8/25（金） 森と水のアウトドア体験広場⇒帰葉

【記録】

8/23（水） 天気 曇り

千葉から駒ヶ根の「森と水とのアウトドア体験広場」へ移動

8/24（木） 天気 曇り ガス深し 時々強風

菅の台バスセンター発 7:05 のバスに乗り、しらび平駅へ。そしてロープウェイに乗り、千畳敷駅へ。何度も来た事がある千畳敷駅、宝剣岳、南アルプス、富士山等が見え、いつも素晴らしい景色が待っていた。それが今日はガスが深く、気温は15度、何も見えない、白い世界。

夫が体調不良で私たち二人とも3ヶ月余り、山へ行かなかったので久しぶりの山行、また山歩きが出来る喜びをかみしめながら、白い世界の中、先ずは極楽平を目指して一步一步歩き始める。

もう高山植物は咲いていないかなと思っていたが、歩き出して間もなくから、アキノキリンソウウサギギク、ヨツバシオガマ、イワツメクサ等々が綺麗に咲いていて励まされる。

極楽平に着くと、風が一段と強く寒いので、カッパを着る。晴れていれば、ここから三ノ沢岳のピラミダルな美しい姿が見えるはずなのに、何も見えず残念。

更に歩を進める。三ノ沢分岐までの間に、もうすぐ枯れそうなウスユキソウが数本咲いていた。分岐に着くと、一瞬ガスがきれ、青空と三ノ沢岳が見え、全容ではなかったが、思わず歓声をあげる。三ノ沢岳だけ見え、宝剣岳や木曾駒ヶ岳や空木岳への稜線などは全く見えない。そしてまたすぐ、ガスってしまい、白い世界の中を歩く。

頂上までの間、ハイマツが茂り、足元の道はしっかりした登山道なのだが、ハイマツをこぐようにして歩く所が多かった。大きな岩場で足場が悪く、ハイマツの枝につかまりながらよじ登る所もあった。

頂上の手前にお花畑があり、トラノオが群をなして咲いていた。その中にハクサンフウロが2本、アキノキリンソウ、ウサギギク、ヨツバシオガマ、ウメバチソウ等々の花に会え、嬉しくなる。ハクサンフウロはもう終わりだと思っていたので、なおさらである。

頂上もガスが深く、周りの山々は何も見えず、残念であった。

往路をたどり、下る。往路は午前中より更にガスが深くなり風も強く、視界は20m位であった。そして14:20千畳敷駅着14:30発のロープウェイに乗ることが出来た。バスを乗り継ぎ菅の台バスセンター15:10着。

こぶしの湯で汗を流し、昨日泊まった「森と水のアウトドア体験広場」の軒下を、今夜も無断で借りてテント泊をする。

今回の山行をおえて

○私の感想

残雪の宝剣岳、木曾駒ヶ岳に登った時、ピラミダルな三ノ沢岳がとても格好よく見えたので、いつか登りたいと思っていた。今回、天気は悪かったが、登ることができ、良かった。

高山植物はほとんど終わりかなと思っていたが、けっこう咲いていて、花たちに会え、嬉しかった。高山植物の最盛期に、そして晴れている日に、いつかまた登ってみたいと思う。

○夫の感想

リハビリを兼ねた久々の山行で、出会ったパーティーが3パーティだけで、静かな山旅ができ、良かった。いつか残雪の三ノ沢岳に登りたいと思った。

○ちば山の皆さんにお勧め

8/23（水）に泊まった所、「森と水のアウトドア体験広場」は仮眠する所として、最適な所だったので、ぜひお勧めします。

予定では、こぶしの湯の近くのキャンプ場だったのですが、行ってみたら、二人用のテント1張りで、4100円の所か5100円の所しかない由でした。高いので止めました。ネットで見た時は、1000円と書いてあったのですが、そこは、1人用のテントだけの所の由でした。

そこで駒ヶ根高原のキャンプ場を探し回り、偶然通りがかった、菅の台バスセンターから近い所に（菅の台バスセンターから車で5分）「森と水のアウトドア体験広場」（クライミングウォールあり）があり、行ってみたら玄関のドアに「水曜日、木曜日休館」と貼り紙がしてありました。その軒下を無断で借りることにし、今夜のねぐらとさせてもらいました。

その軒下は地面に床が張ってあり、けっこう広い屋根となっており、雨つゆがしのげ、水飲み場、トイレがすぐそばにありました。トイレは、そこまでの道と中が人感の電気があり、夜でもへっ電なしでトイレに行けたし、とても綺麗でした。快適で最高のテン場でした。

ちば山の皆さんも駒ヶ根起点の山行の時、利用させてもらおうと良いと思います



一瞬見えた分岐からの三ノ沢岳



ヨツバシオガマ



三ノ沢岳頂上にて



ウサギギク



チングルマの咲き終わった後



アキノキリンソウ